

# E1ご購入時の注意

## ・対能率に関して

E1は独自の電流駆動によってゲイン切り替え無しに多くのヘッドフォンをドライブできますが、主に磁気回路性能などにより能率にいくらかの差があり、能率差によって音量が異なります。多くのヘッドフォンは20mA程度もあれば十分ドライブできますが低能率タイプの中には小型のパワーアンプ程度の出力を必要とし、E1では十分な音量が確保できない場合があります。

概ね90dB/mW前後のヘッドフォンは実際にご確認の上ご購入ください。90dB/mWを下回る場合は対応できない可能性があります。

## ・ヘッドフォン構造による対共振に関して

E1は振動板をタイトにダンブして共振を押え機械+電気インピーダンスの対周波数変動を抑えた強力な磁気回路を備えるタイプのヘッドフォンを得意としています。これと相反する繊細な音出のヘッドフォンの中には振動板を自由に動かす発想から、十分にダンブしていないため機械的な共振を起こしやすいタイプがあります。

こうしたヘッドフォンはこれまでの電圧駆動では共振点（付近を含め）インピーダンスが増加し自動的に電流が減少し動きを抑制するため安全動作を確保しやすいですが、ある程度共振動作は避けられないため、本来の再生信号レベルと相関のない動きになります。

E1ではヘッドフォン特性に関係なく電流を流すため強い共振点のある場合、強い共振が起こり、音割れを発生することがあります。十分ご確認の上ご購入ください。